

2020年3月13日
日本空港ビルディング株式会社
株式会社 JTB

日本空港ビルディングと JTB は、羽田空港を起点として日本の新たな魅力づくりや交流創造、 体験価値の向上につながる事業共創を見据え、包括的業務提携契約を締結

日本空港ビルディング株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長執行役員兼 COO 横田 信秋、以下：日本空港ビル）と株式会社 JTB（本社：東京都品川区、代表取締役社長執行役員：高橋広行、以下：JTB）は、羽田空港を起点とした新たな魅力づくりや交流創造、体験価値の向上につながる事業共創に向けて包括的業務提携契約を締結しました。

羽田空港利用者は年間 8,500 万人を超え、首都圏空港の機能強化の一環で国際線発着便数が最大で年間 3.9 万回増便されることに伴い、3 月 29 日から羽田空港は現在の国際線（第 3）ターミナルに加え、第 2 ターミナルの国際線施設を供用開始します。海外と日本各地を結ぶハブ機能として、羽田空港への期待がより一層高まります。

この度、羽田空港の機能向上と新たな価値の創造を目指す日本空港ビルと、「交流創造事業」を事業ドメインとする JTB は、今後拡大する訪日客や国内旅行者に向けた空港機能の価値向上、空港を起点として訪日客と地域の魅力をつなぎ、人やモノ・コト体験の交流を創出することを目指して、新たなサービスを提供していくことについて合意に至りました。両社は相互に連携し、訪日客をはじめとする旅行者の体験価値の向上、地域の活性化に貢献してまいります。

◆主な協業項目

1. 訪日客等への観光案内や情報発信機能の強化

－第 2 ターミナルに新設されるウェルカムセンターでの観光案内やプロモーション

空港内に観光案内所を設け、訪日客等へ旅客サービス機能を集約したワンストップサービスを提供します。

－訪日客の『食』に関するコミュニケーションギャップの解消ならびに新たな需要の創出

訪日客が言語の壁を越えて日本の食に関する魅力的な情報を取得しやすくする環境を整備し、「食」体験の充実による販売拡大と、「食」の嗜好性を集約し、新たなメニュー開発等に活用します。まずは、空港内飲食店での多言語情報提供からスタートします。

－市中免税店のプロモーション強化

発着枠の増加に応じた訪日客との接点を拡大し、相互協力により市中免税店への誘客促進につなげます。

具体的には、第 2 ターミナルに新設されるウェルカムセンターでの周知活動、JTB のネットワークを活用した市中免税店への訪日客誘導などを行うことにより、プロモーションを強化するとともに、訪日客の利便性も高めてまいります。

2. コト・モノ・トキの交流を軸とした地方創生に関する協業

－地域産品や体験等、羽田の「場」「ノウハウ」を活用した地域の魅力発信と交流の創出

日本国内の各地域とつながる羽田空港の場の強みを活かし、各地で展開される文化やアートの発信、各地域のストーリーを感じられるプレミアムな商品を発掘し、その魅力を伝えます。

－食材を起点として地域の魅力を伝える「和蔵場～WAKURABA～」カフェでの連携プロデュース

第 2 ターミナルに新たに开店する「和蔵場」カフェにて、お茶・お酒をメインとし、地方の新たな食の魅力、さらには食を通じて現地の体験や魅力的な地域産品を伝えます。カフェ内に設置される展示スペースでは、食材提供者（自治体・企業・団体）を中心として地元の魅力を伝え、地域とのネットワークを通じて、地方の新たな魅力資源や食材の発掘、流通、旅へのいざない方を連携して創出します。

3. トランジット客等を想定した羽田空港起点の回遊創出

- －スカイホップバス[※]による回遊コース開発（2020年度は実証実験を通じて本格展開を検討）
羽田空港を起点としてトランジット客も楽しめるスカイホップバス回遊コースを開発し、実証実験を行います。
- －訪日客向けガイド付きツアーやアクティビティの販売（サンライズツアー等）
人気観光地巡りや日本の文化体験を JTB グループが長年案内し続けている訪日外国人向けツアーブランドにてメニューを企画し販売いたします。
- －羽田空港周辺エリアを起点とした回遊コンテンツ商品の開発
トランジット客等をターゲットとして、羽田空港周辺エリアの魅力を楽しむことのできる回遊プラン・ツアー等を企画します。

4. カルチャーやキャリアがクロスオーバーする空港を活用した学びの場

- －羽田空港で働く専門人材を通じた中高生向けキャリア教育プログラム
羽田空港で働く専門的なスキルを持つ社会人を囲んで、中高の学生とディスカッションの機会を設ける教育プログラムを連携開発します。学生と社会人の距離を近くし、コミュニケーション能力と価値観、将来のことを考える場を提供します。



羽田空港を起点として、日本の新たな魅力づくりや交流創造、体験価値の向上につながる事業を共創



1. 訪日客等への観光案内や情報発信機能の強化
2. コト・モノ・トキの交流を軸とした地方創生に関する協業
3. トランジット客等を想定した羽田空港起点の回遊創出
4. カルチャーやキャリアがクロスオーバーする空港を活用した学びの場

※ スカイホップバスとは、日の丸自動車興業株式会社が運行する、乗り降り自由の周遊型定期観光バスサービスの名称

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

日本空港ビルデング株式会社 広報・ブランド戦略室 TEL：03-5757-8030 9:00-17:30(土日祝除く)

JTB 広報室 TEL：03-5796-5833